

みどりみらい 3rd Season ぐんじとしのりの議会報告

2013/08/18

Vol.43

西の原 2-3-6-104 TEL/FAX 45-8362

E-MAIL ID : toshigunji@hotmail.com / Twitter : @toshigu

http://www.mmirai.com (HP) <http://togu.seesaa.net/> (ブログ)

平成 25 年 第 2 回 印西市議会定例会報告 (5) ～ 北総鉄道の運賃問題について (2)

いつもお世話になっております。印西市議会第 2 回定例会 (6 月議会) は、6 月 21 日 (金) 迄の会期にて行われ、閉会しました。

6/14(金曜日)に一般質問に立ちました。

以下、市当局への質問と回答です。

1. 北総線の高運賃対策について (以下、抜粋です。)

補助金支出について市当局に聞きました。・・・現在、印西市は 8100 万円を補助金として (北総鉄道に沿線自治体+千葉県で 3 億円を補助金として=後述) 支出する合意書があり、平成 25 年度も予算に入れています。市では 8100 万円の支出をして、議会でも「どうする? 4.6%値下げ後」という話があり、この表現は間違っていないと思いますが、市当局に確認したいことがあります。

「この 4.6%の値下げのために印西市は 8100 万円、もっといえば、県が 2 億円、沿線市で 1 億円合計で、3 億円支出している。」このように言われていますが、8100 万円の支出は、4.6%の値下げのためでしょうか? 4.6%ではなく、この金額は「通学定期 25%割引」をするために支出しているのではないのでしょうか?

過去の資料を市当局につくってもらってありますが、印西市が 8100 万円出す前、平成 22 年度 印西市は定期券 25%補助のため、いくら北総鉄道に補助金として渡していたか?

ものすごい時間をかけて、当時の議員 (私を含めた) は議論をして、結論から言って平成 21 年には 1 億 1,433 万円 (旧印西市のみ)、平成 20 年には 1 億 1,428 万円 (旧印西市のみ) 支出したことを覚えているのでしょうか。 (この時には、運賃は下がっていません。対象者も高校生と大学生に絞って、市から住所証明書を発行して「定期代」を補助するというを行なっていました。)

現在のスキームがいいか。悪いかは、私は判断できるほどの材料を持ちあわせていません。まずは十分な情報を提示してもらって、市民に十二分に説明をして、決めればよいと思っています。

私は、北総鉄道に補助金を出さなくてもいいと思っています。ただ、どうやって現在の「通学定期 25%割引」を継続するのかを代替案が欲しい。たとえば、市が市民に一人一人定期代金を補助金として払うこともありだろう。市民に広報して、一人一人の市民が(以前のように)手続きを市庁舎や支所、出張所で手続きをとって、駅で手続きをする。しかし、パスモは使えるのでしょうか。

何よりも市民や市の職員の皆様の負担は確実に増えると思うけれど、それでいいのだろうか?

市当局は「どのように考えて、8100 万円を拠出しているのだろうか。」お聞きしたい。

(回答/企画財政部長 *抜粋) 8,100 万円、自治体が 3 億円(負担)というのは、このスキームが合意の上で合意書を取り交わしたことによって支払われているものだと認識しています。

8,100 万円を従前の方法と比較してどのように市としては考えて受け止めているかは、現行の 8,100 万円はひとつの結果であろうと考えています。

それと、「北総協 (北総線運賃問題協議会)」及び千葉県沿線 4 市、実際の負担をしている団体

ですが、この中でやはり議論のテーブルにのる話は、どういうスキームで、どういう議論をもって上っても、最終的には北総側が運賃の値下げというものに対しては合意できるかどうかが断言できない。したがって、やはり運賃スキームを固めていく場合には、北総側の合意が受けられれば、これは確実だろうと。ただ一方で、これだけの負担を継続するのがいいのかどうかという議論も現在あることは事実です。

※ 参考

◆ 北総線の運賃値下げに係る合意内容

合意に基づき、北総鉄道株式会社は、成田スカイアクセスの開業日である平成22年7月17日から、北総線の運賃が値下げを実施しています。

値下げ内容としては、普通運賃約4.9%、通勤定期運賃約1.1%、**通学定期運賃約25%**、平均で約4.6%の運賃値下げですが、通学定期については、印西市と白井市が平成22年7月17日以前に実施してきた通学定期助成と同程度の値下げ率を維持する内容となっています。

◆ 運賃値下げの概要

平成22年7月17日に北総鉄道の運賃が改定されました。この改定により、通学定期に関しては、約25%の値下げが実施され、現在に至っています。(平成22年7月17日以前に2市で実施していた割引通学定期助成制度の額とほぼ同程度の額で、購入できるようになっています。)

また、以前は「住所証明書」を添付していましたが、現在はありません。

(ぐんじとしのりより皆さまへ) 部長答弁にあるように、現実的な問題として北総鉄道をどのように議論のテーブルにつかせ、運賃の適正化につなげていくのかが今後の焦点です。(8月9日現在、「北総協(北総線運賃問題協議会)」から民間シンクタンクに依頼していた「(運賃問題についての)『報告書』」があがってきたと印西市からの連絡もありません。=期限は7月末日でした。)

印西地区環境整備事業組合 臨時議会が開催されました。

8日(木)に「臨時議会」が開催され、1つの条例制定、1つの補正予算審議、1つの報告案件が審議されました。(全て可決)。また、私より現在、組合で開催されているクリーンセンター移転に関する2つの「検討委員会」に対する緊急質問を行ないました。

* 平成25年度印西地区環境整備事業組合一般会計 補正予算(第1号)について

- ・・・「談合事件」の解決を受けて、歳入歳出予算の総額にそれぞれ165,228千円を追加し、予算総額を3,217,574千円とするもの。

(議案の説明のあとに「具体的に印西市にいくら返ってくるのか試算しているのか」を質問したところ29,676千円という回答がありました。=損害賠償金165,228千円から弁護士費用10,760千円を差し引き、国庫、県に返還すると同時に3自治体に人口・均等割で分割し、さらに3自治体からURに返還することを試算した結果が29,676千円です。)

▼ 参考 談合事件とは・・・印西クリーンセンター3号焼却炉増設工事に関する談合事件

JFEエンジニアリング(株)(旧:日本鋼管(株))をはじめとする関係5社に対する公正取引委員会の審決において、組合の入札においても談合という不法行為が行われたものと認め、組合に損害が発生したものと判断し、私的独占の禁止及び公正取引の確保に関する法律第25条の規定により、平成22年6月17日付けで損害賠償請求を行ったものです。

この紙面へのご意見に限らず、市政全般へのご提言、ご批判、皆様からのご相談はいつでも承ります。(紙面の内容についてはお住まいのエリアにより、若干異なっております。)

市政の最新情報を求める方は私のブログやツイッターをご覧ください。(随時更新しています)市民参加のまちづくりを引き続き、皆様と行ってまいります。宜しく申し上げます。

ぐんじとしのり